

平成27年5月14日

各位

雪印メグミルク株式会社
代表取締役社長 西尾啓治

平成27年3月期 決算短信発表にあたり

平成27年3月期のわが国経済は、緩やかな景気回復基調が継続いたしました。いまだ個人消費には力強さが見られず、食品業界においては高付加価値商品に注目が集まる一方、依然として低価格志向も継続しております。

このような経営環境の中、「雪印メグミルクグループ中期経営計画（平成26年度～平成28年度）」に基づき、環境変化への対応と経営基盤の強化に取り組みました。新商品の拡売とブランド強化に取り組み、連結売上高は前期を上回り、5,498億円（前期比100.9%）となりましたが、連結営業利益は93億円（前期比83.5%）となり、増収減益となりました。国内生乳生産量の減少による乳原料の不足や急激な円安による調達コストの更なる上昇に対し、販売価格の見直しや容量変更などの対応策を実施いたしました。コストアップ影響額の全てを吸収するに至りませんでした。

一方、戦略設備投資を行なった阿見工場は、厚木マーガリン工場や横浜チーズ工場、関西チーズ工場からの生産機能の移管を完了し、平成26年11月に本格稼働いたしました。

厳しい経営環境は継続しておりますが、環境の変化を踏まえて、引き続き、プロダクトミックスの改善やコストアップへの対応等の「事業構造改革」、昨年稼働した海老名工場、阿見工場における合理化メリットの創出を柱とした「戦略投資設備の最大活用」等をスピーディ且つ着実に実行することにより、更なる成長を果たしてまいります。

当社グループは、ロングセラー商品に加えて、独創的なオンリーワン商品づくりに取り組み、新市場・需要創造に向けチャレンジしております。今後も、“乳（ミルク）”にこだわり、“乳”の可能性と価値をさらに深め、高め、拡げることを通じて、未来を創造する企業を目指してまいります。

また、役職員一同、引き続き、コンプライアンスと品質管理の徹底を図り、CSR経営を積極的に推進してまいります。

今後とも、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上